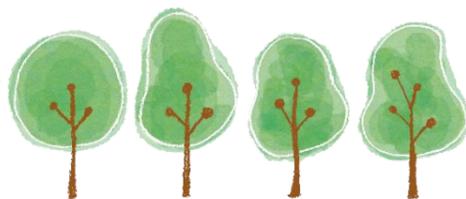


図書館だより

2024年 5月



目に鮮やかな新緑、花々が咲き乱れ、5月は1年中で最もさわやかで過ごしやすい時期です。5月に吹くさわやかな風を薫風（くんぷう）と言います。初夏のかおりを漂わせる風としてふさわしい名前ですね。

4月10日に「本屋大賞」が発表され、今年度は宮島未奈さんの「**成瀬は天下を取りに行く**」（新潮社）に決定しました。デビュー作での受賞は逢坂冬馬さんの「同志少女よ、敵を撃て」（22年）以来3人目。2位は津村記久子さんの「水車小屋のネネ」（毎日新聞出版）、3位は塩田武士さんの「存在のすべてを」（朝日新聞出版）でした。ノミネート作全て、図書館にありますので、ぜひ図書館に来て、本を手にとってみてください。



2024年本屋大賞受賞の宮島未奈さん

宮島さんは静岡県富士市生まれ、大津市在住。21年に「ありがとう西武大津店」で「女による女のためのR-18文学賞」大賞など3冠を受賞。同作を含む「成瀬は天下を取りに行く」でデビューした。宮島さんは授賞式で「本屋大賞を受賞したことで、ますます多くの皆様に成瀬と出会っていただけるのがとても楽しみ」と笑顔を見せた。
（「毎日新聞」Web版より）



館内特別展示「本屋大賞」特集と「本で世界を旅しよう！」

「成瀬は天下を取りに行く」は地元・大津市をこよなく愛する少女・成瀬あかりの日常を描いた青春小説。閉店間近のデパート・西武大津店に毎日通い、テレビ中継に映ろうとしたり、漫才をやった事もないのにM-1に出てみたり、一見するとぶっ飛んでいる行動ですが、この彼女の行動が周りにいる人を元気にします。唯一無二の主人公の魅力にはまり、一気に読んでしまいます。



「心を癒す本」
特集

「図書館からの
おすすめ絵本」



成瀬あかり

島崎みゆき

滋賀県大津市生まれ、同市在住。島崎曰く一人でなんでもできてしまうがゆえ、他人の目を気にすることなくマイペースに生きている。いつもスケールの大きなことを言うが、日頃から口に出して種をまいておくのが大事だという考えを持っており、たとえ目標に届かなくても落ち込まない。もちろん目標達成することも多数で、かつては天才シャボン玉少女としてローカル番組で名を馳せたことも。将来の夢は、二百歳まで生きること。

自称成瀬と同じマンションに生まれついた凡人。成瀬家とは家族ぐるみの付き合いがある。私立あけび幼稚園に通う頃から、成瀬あかり史の大部分を間近で見えてきたという自負があり、成瀬を見守るのが己の務めだと考えている。コミュニケーション能力が高く、友人も多い。両親は県外出身。

「特設ページ」より参照



< 本の返却を忘れていませんか? >

借りた本を期限までに返却していますか？
返却は図書館カウンターまたは返却ボックスを利用して
ください。返却ボックスは、
図書館1階 別館1階 第3別館1階
にあります。ご協力をお願いします。<(_ _)>

